

中野光氏プロフィール

福井県立大学海洋生物資源学部卒業

福井県内水面漁業協同組合連合会技師

福井県立大では、河川構造物がアラレガコなどに与える影響を研究し、卒業論文が学部の発表会で最優秀賞に選ばれた。河川の水産資源や生態系の保全、内水面漁業の活性化に取り組みたいとの思いから、2020年に福井県内水面漁連に就職した。職場で唯一の技師として、主に放流用アユの生産や外来魚駆除を担当している。

休日も川や海に足が向く。県内外で採取活動を行っているほか、子供たちに魚を身近に感じてもらおうと観察会や環境イベントの講師を務める。

アラレガコ、サクラマス、サバなど魚を描くこともライフワークの一つとしている。研究を通して、技師としての職を通して、魚に携わってきた中で培われた観察眼で描かれた魚の絵は、鱗1枚1枚まで細かに描かれており、圧倒的な存在感を持っている。過去には、永平寺町公民館など県内各地で個展を開催している。今回は、海の環境について学ぶ体験施設である「福井県海浜自然センター」にて展覧会を開催する。

中野光氏の展覧会の様子





ツイッター



インスタ